

おいしい時間 洋菓子 夢菓子工房セ・ジュール

こだわり材料で作る夢の詰まった創作菓子

夢菓子工房セ・ジュールはおいしさと食の安全にこだわり、厳選した素材を使ったオリジナルケーキが人気の洋菓子店で、創業から44年を数え、多くのファンを持つ。

ショーケースには季節に合わせた生ケーキ約15種と焼き菓子約18種などが並び、

生ケーキではモンブラン、ドゥパリ、バスクフロマージュ、シューパリジェンヌ、3つ星牛乳プリン、シャインマスカットの



ショートケーキ、テリーヌショコラ、焼き菓子ではこまりん、エンガディナー、こまえポテト、こぐまのユーゴなどが人気。

昭和57年に藤田剛さん（66）がオーガニック素材を使った自然の味を生かした夢のあるケーキを提供しようと創業。平成29年に実施された市主催のスイーツ逸品コンテストで優秀作品賞を獲得した「天使のミルティーユ」をはじめ、

☎3480-8862 和泉本町1-2-8ウスタリア 狛江ビル1F 営業＝午前10時～午後6時 月・火曜日休み



親子で絵手紙に挑戦

元祖☆親子絵手紙教室が8月23日（日）にエコルマホール6階展示・多目的室で催され、20組49人の親子が参加した。

たくさんの人に絵手紙に親しんでもらおうと開催されているもので、今回で17回目。例年12月に開かれてきたが、今年は夏休みに実施した。

「絵手紙発祥の地ー狛江」実行委員会の委員から筆の持ち方や線のひき方など絵手紙の基礎について学んだ親子たちは、約1時間がかりでうちわに夏らしい野菜や果物、おもちゃなどをモチーフに絵と文章をかいた。

参加者たちは絵手紙を見ながら「初めてだけど楽しかった」「友達に見せます」「また参加したい」などと話していた。



ひらがな 絵手紙の輪

10日から史跡巡りラリー、紙芝居も製作

「狛江郷土資料館（仮称）設立をめざす会」（石谷清隆代表）が、市内の史跡等を回ってクイズに答えるデジタルスタンプラリー（狛江市、狛江市教育委員会後援）を10日（日）～11月30日（月）に行う。

親子で狛江の歴史を身近に感じてもらおうとイベントを企画、狛江で発見されたコマギユウが案内役となる紙芝居「こまえゆるりくるりめぐり」を石谷代表が製作。9月5日（日）に狛江第五小学校で行われた「五小夏まつり」で同小元校長の石谷代表が児童に初披露した（写真）。

スポットはむいから民家園、和泉式土器モニュメント、猪方小川塚古墳公園、岩戸八幡神社、万葉歌碑、化石島など12カ所。それぞれのスポットでクイズに答え、正解するとスマホにスタンプを付与。4個以上集めると市内5カ所のカフェで記念グッズを受け取れる。

問い合わせ ☎komae.kyodo@gmail.com 同会。スタンプラリー二次コード→



MENU（税別）

①こぐまのユーゴ¥320 ②こまりん ¥300 ③こまえポテト¥300 ④エンガディナー ¥2,000 ⑤3つ星牛乳プリン ¥350 ⑥モンブラン ドゥパリ ¥750 ⑦シューパリジェンヌ ¥350 ⑧シャインマスカットのショートケーキ ¥620 ⑨バスクフロマージュ ¥520

平成26年から都内の有名店で修行した息子の京輔さん（42）が加わり、主に生ケーキを担当、焼き菓子を担当する父の剛さんとともにレパートリーを広げている。

同店では、小さな子ども安心して食べられるよう北海道産の生クリームと牛乳、奥久慈卵と那須の御養卵、富士山麓の天然水など選び抜いた素材を使い、不要な添加物を使わず「見た瞬間、口に入れた瞬間の感動を大切にしたいケーキ作りを心がけています」と京輔さんは話している。

コマギユウ音頭を創作 民家園祭りで初披露

狛江市の多摩川で平成18年に発見された約130万年前のステラダイカイギユウの化石にちなんだ「コマギユウ音頭」が先頃完成、8月22日（日）に市立古民家園（むいから民家園）の夏祭りで披露された。

ステラダイカイギユウは北太平洋に生息していたジュゴン科に属する海藻食の大型哺乳類。多摩川の二ヶ領用水宿河原堰近くで全身骨格が見つかった。昨年11月から今年2月まで開催された国立科学博物館の「大絶滅展ー生命史のビッグファイブ」で、ステラダイカイギユウの化石としては世界最古で、同一個体の全身骨格が残る貴重な資料として全長約6mに達する化石が初公開されて注目を集めた。同館では展覧会の開催にあたって愛称を募集、「狛江のステラダイカイギユウ」を略して「コマギユウ」という愛称が決まった。

これをきっかけに地元の人に愛称を広め、狛江の昔への関心と愛着を高めてもらおうと、みんなのむいか

ら民家園実行委員会が音頭を製作することにした。

市内で子ども向けの音楽教室を主宰する吉田千香さんが作詞・作曲、歌を歌手和やす子として活動している民家園実行委員長の河西和さん、振り付けを花柳小春乃さんの社中が担当した。花柳さんは、祖母がこまえ音頭の振り付けに関わったこともあり快諾、多摩川、発掘、大きな哺乳類が泳ぐ様子などストーリー性を持つ振り付けに仕上げた。

夏祭りは夕方から雨に見舞われたが、河西実行委員長が音頭の背景などを説明した後、吉田さんの和太鼓に合わせて歌を披露、花柳さんの指導で実行委員らが踊りを初披露した。

狛フェスに5日は約2万人 狛江駅南口では盆踊りの輪

狛江フェスティバル2026（同実行委員会主催）が9月5日（日）・6日（月）に狛江駅周辺で開催された。5日は家族連れなど多くの人でにぎわい、約2万人と過去最高の人出を記録。一方6日は強い雨に見舞われたため予定より早く午



狛江駅南口で盆踊りの輪

後5時に打ち切った。泉龍寺の「こまえ夏まつり」では市民団体による縁日やダンスなどの発表、たかちゃんえきまえ広場では市内外のブルワリーや飲食店など24団体による「KOMAE BEER FESTIVAL」、ほこみちではステージでの音楽演奏やダンスと、こどもひろばが開催された。

新たに会場となった同駅南口ではロータリーを通行止めにして昼間は子ども参加型ステージ、5日夜は盆踊りが繰り広げられ、浴衣姿の人などが東京音頭や炭坑節などに加え、できたばかりのコマギユウ音頭などを楽しんだ。6日夜の阿波踊りは雨天中止となった。

また、会場で集められた義援金210,033円が地震に見舞われた石川県と熊本県に贈られた。

岩戸八幡神社 岩戸南2-8-2

宵宮祭＝3日（日）午後6時から素人演芸（氏子有志のカラオケ、舞踊ほか）。例大祭＝4日（日）午前10時から式典、午前11時からおとな・子どもみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行。午後6時30分から奉納芸能（バルーンパフォーマンス、マジック、箏曲、歌謡曲）、夜店。☎3480-2470 須田

白幡菅原神社 猪方2-4-4

宵宮祭＝10日（日）午後4時からはやし、獅子舞の奉納、狛江高校箏曲

部の演奏、奉賛会青年部、二中おやじの会有志による模擬店。例大祭＝11日（日）正午から式典、午後0時30分から太鼓、はやし部山車、みこしの巡行。午後6時宮入、6時30分から狛江消防署、狛江第二中学校吹奏楽部の演奏。☎3489-8134 栗原

日枝神社 駒井町1-6-11

宵宮＝10日（日）夕方から大太鼓巡行、おはやし奉納、夜店。例大祭＝11日（日）正午から式典、午後0時30分からおとな・子どものみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行、夜店 ☎3480-8582 松坂

第57回多摩川ふるさと団地まつり

11日（日）午前11時～午後8時多摩川住宅グラウンド。みこし、和太鼓、盆踊り、やぐらステージ、イベント、屋台、キッチンカー出店など。多摩川住宅自治連合会、多摩川ふるさと団地まつり実行委員会主催

小足立八幡神社 西野川2-33-1

宵宮＝17日（日）午後1時から太鼓、はやし巡行。例大祭＝18日（日）正午からみこし、太鼓、はやし連、山車の巡行。☎3489-8912 栗山

